



# Let's enjoy English!



~Monthly E . News~

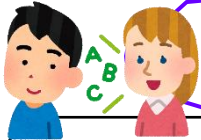
須賀小学校・百間小

英語科 通信 No.1

Written by S.Watahiki

本年度も、須賀小学校と百間小学校では担任を中心に、複数教員で協力して外国語活動・英語科の授業が進められています。英語らしい音声を聞かせるための ALT (Assistant Language Teacher) は今年度も Teresita Wakutsu 先生です。担任の先生をサポートして授業を一緒に進めてくださる JTE (Japanese Teacher of English) は成瀬淳一先生です。そして2校の研究が両輪となって進められるよう、両校の英語授業に入らせていただきます英語専科の綿引 忍です。1年間よろしくお願いいたします。

## ?宮代町の小学校英語って?



「聞かせているだけでいいのですか?」  
とよく尋ねられますが...

- 私たち教師にも発想の転換が必要でした。
- 実は「聞かせているだけ」ではありません。「早く話せるようになって欲しい!」と願いながら、そのためにたくさん英語を聞かせ、蓄えさせる努力をしています。

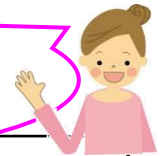


「どんな成果があるのだろう?」

- 「水面下での成果・力」が1時間・1時間で備わっています。それが音声の蓄えであり、英語らしいアクセントへの慣れ親しみであり、すべてを理解することが困難な英語を聞いて理解しようとする心の逞しさです。

「この1時間で何ができるようにになるの?」  
と求めがちですが...

- 1時間で学んだ「目に見える成果」を求めてしまいがちです。たった1時間の授業でぺらぺら話せるようになるのならば、もっとたくさんの方が英語を話せるようになっているはずですが。そこには他教科とは違った「ことばの学びの特性」があることを理解しなければいけませんでした。



「そして.....」

- 子供たちがたくさんの英語を聞き、ことばの受け皿がいっぱいになったとき、ことばは溢れ、発せられるようになりました。
- 決まった表現の暗記ではなく、耳にしてきたことばを話すようになりました。それが本当のことばの習得です。



## Eタイムが変わりました!

英語を話せるようになるには、「聞くこと」が最も重要だという観点から、須賀小学校では4月から、「毎日英語を聞く時間を作りたい!」という教師の思いを受けて、毎朝の5分間を「Eタイム」として設定しました。1学期はフォニックスを中心にたくさんの英語らしい発音を聞いて、蓄える時間にしたいと思っています。御家庭でもEタイムの事を話題にいただき、英語を意識的に日々の生活に取り入れていただけると嬉しいです。

